シラバス

教科名	職業	学年	３学年

目　標	職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (2)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (3)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 ※目標はさらに１段階と２段階に分かれる。
学年の目標	卒業後の職業生活に必要な実践的な知識と態度を育て、意欲を高める。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 （観点別の目標）	学習内容	評価の観点 （生徒の達成度をA～Dの４段階で総合評価）
通年		「マイパスシート」	【知識及び技能】 ・サービス利用や就労に必要な手続きや関係機関を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進路の流れを理解し、その時々に何をしなければならないか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考え、学習意欲を高めることができる。	Ａ職業生活　イ職業 ・定期的に自分の進路の進捗状況、目標、必要な手続きなどを書き込み、自分で進路決定までの見通しをもつ	【知識・技能】 １段階：進路決定に必要な手続きや関係機関を知ることができる。 ２段階：進路決定に必要な手続きや関係機関の役割を理解することができる。
					【思考・判断・表現】 １段階：進路の進捗状況に合わせて、その都度必要な手続きや準備を考えて行動することができる。 ２段階：見通しをもち、必要な手続きを考え、準備することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：教師の支援を受けながらマイパスシートに記入することができる。 ２段階：自主的にマイパスシートを作成することができる。
					評価方法：マイパスシートの内容、授業態度
4 5	6	オリエンテーション	【知識及び技能】 ・年間の学習内容を大まかに理解し、見通しをもつことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進路の流れを理解し、その時々に必要なことを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・最終学年としての意識をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	オリエンテーション ①３学年職業の学習について ②進路決定までの流れ	【知識・技能】 １段階：進路決定までに必要な活動と時期を大まかに理解することができる。 ２段階：進路決定までに必要な活動と時期を理解し、準備することができる。
					【思考・判断・表現】 １段階：年間のスケジュールを理解し、どんな準備が必要なのかを考えて発表することができる。 ２段階：年間のスケジュールに合わせて準備し、自分で目標を考えることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：自分の希望する進路に向け、課題を考え前向きに取り組む気持ちをもつことができる。 ２段階：、自分の希望する進路に向け、課題解決の方法を考え、前向きに取り組む気持ちをもつことができる。
					評価方法：授業プリント、発表、授業態度
		自己理解	【知識及び技能】 ・職業に関する事柄について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の長所と短所を考え、職業生活に向けた課題を設定することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の進路に向けて、現在の課題を自覚することができる。	Ａ職業生活　イ職業 Ｂ情報機器の活用について ①長所と短所、課題と解決方法を考える ②自己ＰＲ、自己表現の必要性や効果的な方法を知る。 ③履歴書、履歴書写真、面接の準備と練習 【国語：話す】	【知識・技能】 １段階：履歴書の正しい書き方を知ることができる。面接の正しい受け答えやマナーを知ることができる。 ２段階：履歴書や面接での効果的な自己ＰＲの方法を知ることができる。
					【思考・判断・表現】 １段階：自分の長所、短所を考え、課題設定をし、発表することができる。 ２段階：自分の長所、短所を考え、履歴書や面接で効果的に表現することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：履歴書を丁寧に書くことができる。面接練習に取り組み、正しい受け答えやマナーを身に付けることができる。 ２段階：工夫して履歴書を書くことができる。面接練習で効果的に自己ＰＲができる。
					評価方法：履歴書、面接練習

6	4	いろいろな仕事	【知識及び技能】 ・卒業生の職場や働き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・講話を通して、感じたことを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卒業後の生活に向けて意欲と態度を養うことができる。	A職業生活　イ職業 ①先輩たちの仕事（進路決定の過程と現状について写真や動画を視聴） ②就労形態の違い、生活場所の違い ③進路セミナー（卒業生講話） 【国語：話す、聞く】 【家庭：自分らしい人生をつくる】	【知識・技能】 １段階：就労系福祉サービスの種類と内容、一般就労との違いについて大まかに理解することができる。 ２段階：就労系福祉サービスの種類と内容、一般就労との違いについて理解することができる。
					【思考・判断・表現】 １段階：卒業生の事例をから卒業後の生活をイメージし感想を発表することができる。 ２段階：卒業生の事例から自分の目指す進路、卒業後の生活をイメージし発表することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：卒業生の事例に対して、質問を考えることができる。 ２段階：卒業生の事例を身近な問題としてとらえ、自分に置き換えて考えることができる。
					評価方法：授業プリント、質問、感想発表、学習態度
7 8 9	7	現場実習（前提実習） 事前・事後学習	【知識及び技能】 ・実習を通して、卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実習を通して、自己の適性、課題などを考え、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・働くことを通して、勤労意欲を高めて、卒業後の進路に向け、目標を立てることができる。	C産業現場等における実習 ①オリエンテーション ②事前学習（目的、内容、日程、持ち物など） ③履歴書作成 ※清書は国語で実施 ④職場に応じた報告、連絡、相談 ⑤電話対応、マナー ※実習で必要とされる情報機器がある場合は個別に操作方法を学習する。 ⑥事後学習（振り返り、まとめ） ⑦報告会準備 ⑧報告会 ※実習（前提実習）は作業学習の時数で実施する 【作業学習：現場実習】 【国語：書く】	【知識・技能】 １段階：前提実習の内容、日程、持ち物などを理解することができる。 ２段階：前提実習の内容、日程、持ち物などを理解し、自分で準備することができる。
					【思考・判断・表現】 １段階：前提実習を振り返り、報告会で発表することができる。 ２段階：前提実習を振り返り、卒業後の生活へ向けての目標を考え、報告会で発表することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：自分で発表原稿や画像の準備をすることができる。 ２段階：工夫して自分で発表原稿や画像の準備をすることができる。
					評価方法：学習帳、報告会原稿、報告会発表態度
10	5	社会のしくみと職業	【知識及び技能】 ・福祉サービスや職業や生活に関わる制度、手続き、関係機関などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・制度や支援の実際を知り、自分に必要なものを選ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卒業後の生活をイメージし、社会参加の意識、意欲をもつことができる。	A職業生活　イ職業 ①福祉サービス利用の流れ、サービスの利用方法 ②関係機関との関わり、利用方法 ③労働条件と求人票の見方 ④障害基礎年金、各種保険 【社会：社会参加ときまり】 【家庭：自分らしい人生をつくる】	【知識・技能】 １段階：求人票で注意して見る項目を大まかに理解し、教師の支援を受けながら労働条件を調べることができる。 ２段階：求人票の項目の意味を理解し、求人票を見ることができる。
					【思考・判断・表現】 １段階：どんな働き方や生活がしたいのか考え発表することができる。 ２段階：制度や支援について理解し、自分に何が必要かを考えることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：サービスや制度を選んで内容を調べることができる。 ２段階：サービスや制度の利用方法を調べることができる。
					評価方法：授業プリント、学習態度
11 12 1 2	11	勤労と生活	【知識及び技能】 ・将来の職業生活を見据えて健康管理、余暇活動、金銭管理について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来的に社会人として、生活に必要なお金の使い方、コミュニケーション、健康維持などについて適切な方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らが卒業後の生活を考え、その生活に向けた意欲と態度を養うことができる。	A職業生活　イ職業 ①金銭管理（給料明細の見方、適切な管理方法） ②経済生活（現実的な予算管理と調整） ③心と体の自己管理 ④職場の人間関係 ⑤余暇の意義とライフワークバランス ⑥生活力の向上と自立 ⑦スマホ、ネットトラブル ⑧様々な決済方法について ⑨生活の中にある様々なトラブルと対処法 【家庭：住生活を作る、経済生活を営む、食生活】 【情報：iPad の利用】	【知識・技能】 １段階：生活に必要な金銭項目を知り、現実的な予算イメージをもつことができる。 ２段階：卒後の生活に応じた金銭管理イメージをもち、出納帳を書くことができる。
					【思考・判断・表現】 １段階：スマホ、ネットトラブルの事例を知り、対処法を考えて発表することができる。 ２段階：金銭や健康にかかわるトラブルの対処法を考え、発表することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：卒後にやってみたい余暇について情報を集めることができる。 ２段階：卒後の生活を豊かにする余暇を考え、情報を集めることができる。
					評価方法：授業プリント、発表

3	1	卒後支援	【知識及び技能】 ・卒後支援のあり方について、理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・卒後支援の手順、利用の仕方を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仲間や後輩との繋がりを意識し、役割を担う意識をもつ。	Ａ職業生活　イ職業 ①卒後支援について ②同窓会について	【知識・技能】 １段階：卒後支援の内容を知る。 ２段階：卒後支援の内容と必要性を理解する。
					【思考・判断・表現】 １段階：卒業後にどんな支援が必要かを考えることができる。 ２段階：卒業後に必要な支援や利用方法について考えることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：同窓会の意味を知り、関わることができる。 ２段階：同窓会の意味を知り、役員など積極的に関わることができる。
					評価方法：発表、授業態度
	1		【知識及び技能】 ・働くことの意義について、３年間の学習を振り返り、理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来的に社会人として、どのような生活を送りたいか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卒業後の進路に向けて、目標を立てることができる。	Ａ職業生活　ア勤労の意義 ①３年間の振り返り ②身に付いた力、これからの課題 【家庭：自分らしい人生をつくる】	【知識・技能】 １段階：働く意義を理解することができる。 ２段階：働く意義を理解し、目標をたてることができる。
					【思考・判断・表現】 １段階：３年間を振り返り、自分についた力と今後の課題を考えて発表することができる。 ２段階：３年間を振り返り、自分についた力と社会人としての今後の課題を考えて発表することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：３年間を振り返り、これからの課題や目標を作文等にまとめ、発表することができる。 ２段階：３年間を振り返り、これからの課題や目標を作文等にまとめ、発表し、交流することができる。
					評価方法：授業プリント、まとめプリント